

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成18年3月30日(2006.3.30)

【公表番号】特表2005-528240(P2005-528240A)

【公表日】平成17年9月22日(2005.9.22)

【年通号数】公開・登録公報2005-037

【出願番号】特願2003-581971(P2003-581971)

【国際特許分類】

B 3 2 B	37/20	(2006.01)
B 2 9 C	65/02	(2006.01)
B 3 0 B	3/00	(2006.01)
B 6 5 H	27/00	(2006.01)
B 2 9 L	7/00	(2006.01)
B 2 9 L	9/00	(2006.01)
B 2 9 L	31/34	(2006.01)

【F I】

B 3 2 B	31/08	
B 2 9 C	65/02	
B 3 0 B	3/00	B
B 6 5 H	27/00	Z
B 2 9 L	7:00	
B 2 9 L	9:00	
B 2 9 L	31:34	

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月9日(2006.2.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1および第2のローラを備え、該第1および第2のローラが本質的に平行であり、該第1および第2のローラが、間隙幅を有する間隙をそれらの間に画定するようになっている、装置において、

剛性の間隙形成ブロック本体と、該間隙形成ブロック本体に回転可能に取付けられた4つ以上の負荷ホイールとを有する、少なくとも1つの間隙形成ブロックを備え、

前記間隙形成ブロックは、前記第1のローラと前記第2のローラとの間に配置され、少なくとも2つの前記負荷ホイールが、該第1および第2のローラの各々に接触するようになっており、それにより該間隙形成ブロックが、最小間隙幅を決定してそれを維持すること、

を特徴とする装置。

【請求項2】

前記ローラの各々は、該ローラが半径 r_p を有する少なくとも1つのプレスゾーンと、該ローラが半径 r_g を有する少なくとも1つの間隙形成ブロックゾーンとを備え、前記間隙形成ブロックの前記負荷ホイールが前記間隙形成ゾーンで前記ローラと接触し、該半径 r_p が該半径 r_g よりも大きく、

前記間隙形成ブロック本体は、前記第1のローラと前記第2のローラとの間の前記間隙

幅の測定に平行な方向へ測定された前記間隙形成ブロック本体の線形寸法としての間隙形成ブロック本体幅を有し、該間隙形成ブロック本体が、該間隙形成ブロック本体幅を調整する手段を有する、

請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

2つ以上のシート材料を、積層装置の第1のローラと第2のローラとの間の間隙に同時に通すことによって、互いに積層する方法であって、該第1および第2のローラが本質的に平行であり、該第1および第2のローラが、間隙幅を有する間隙をそれらの間に画定するようになっている、方法において、

前記第1のローラと前記第2のローラとの間に、剛性の間隙形成ブロック本体と該間隙形成ブロック本体に回転可能に取付けられた4つ以上の負荷ホイールとを有する間隙形成ブロックを、少なくとも2つの負荷ホイールが該第1および第2のローラの各々に接触するように配置し、それにより該間隙形成ブロックが、最小間隙幅を決定してそれを維持するようにして、

前記第1のローラと前記第2のローラとの間に、2つの前記間隙形成ブロックを、それら間隙形成ブロックの各々の前記少なくとも2つの負荷ホイールが該第1および第2のローラの各々に接触するように配置し、それによりそれら間隙形成ブロックが、最小間隙幅を決定してそれを維持するようにし、それら2つの間隙形成ブロックを、所与の間隙長さだけ互いに離隔させること、
を特徴とする方法。

【請求項 4】

2つ以上の負荷ホイールが回転可能に取付けられる第1の間隙形成ブロック本体要素と、

2つ以上の負荷ホイールが回転可能に取付けられる第2の間隙形成ブロック本体要素であって、該第2の間隙形成ブロック本体要素が前記第1の間隙形成ブロック本体要素に、間隙形成ブロック本体幅の方向へのそれら2つの要素の相対的な直線運動を可能にするように組合わされ、そのように組合せたときに、いずれか一方の間隙形成ブロック本体要素の少なくとも1つの表面が、他方の間隙形成ブロック本体要素の対向する表面に対して傾いている、第2の間隙形成ブロック本体要素と、

前記傾いた表面と前記対向する表面との間に配置されたウェッジと、

前記傾いた表面と前記対向する表面との間で前記ウェッジの位置を定め、それにより前記間隙形成ブロック本体幅を決定する調整ねじと、
を備えることを特徴とする間隙形成ブロック。